

# 第13回 日本バイオリギング研究会シンポジウム

## 10年後のバイオリギング

—バイオリギングはどう発展するのか?—

## 大会プログラム

日時：2017年11月10日（金）—11日（土）

場所：福山大学 宮地茂記念館（福山駅前）

主催：日本バイオリギング研究会

後援：福山大学

第1日目 2017年11月10日(金)

場所：福山大学 宮地茂記念館(福山駅前)

14:30 開場・受付

**15:00—17:00 第3回 女子会ワークショップ(1F 102室)**

**10年後のバイオロギングにおける研究者の多様性**

オーガナイザー：三谷曜子(北海道大学), 飛龍志津子(同志社大学),  
山本麻希(長岡技術科学大学)

第2日目 2017年11月11日(土)

場所：福山大学 宮地茂記念館(福山駅前)

09:30 開場・受付

**10:00—12:00 招待講演(9F 903室)**

**バイオロギングで人間と野生動物の共存を可能にする**

山本麻希(長岡技術科学大学)

**海鳥のバイオロギングでみる海洋汚染**

山下麗(東京農工大学)

**バイオロギングが拓く新たな大気海洋観測**

吉田聡(京都大学 防災研究所)

12:00—13:00 昼食(※幹事会 9F 902室)

**13:00-14:30 ポスター発表(1F 102室)**

**14 : 30—16 : 30 招待講演 (9F 903 室)**

**ヒトと動物の関係をバイオロギングから探る**

松浦晶央 (北里大学 獣医学部)

**バイオインフォマティクスのこれまでの10年, これからの10年**

岩崎渉 (東京大学)

**日本が世界をリードするバイオロギングを目指して**

小泉拓也 (Biologging Solutions Inc.)

**16 : 30-17 : 30 総合討論 (9F 903 室)**

司会 山根一眞 (ノンフィクション作家、獨協大学 環境共生研究所)

**18 : 30—20 : 30 懇親会 (リストランテ クラブ・ヴィアージュ 福山)**

## 前夜祭企画 第3回 女子会ワークショップ

テーマ：「10年後のバイオロギングにおける研究者の多様性」

バイオロギング研究者の多様性は、10年前と、どのように変わったのか、そして、10年後、どのように変わるべきなのでしょう。10年前と現在の状況比較や、企業での取り組みから大学が学べること、などについて話題を提供しつつ、みなさまとディスカッションしたいと考えています。ぜひご参加下さい。

**日時：** 11月10日（金）15：00～17：00（懇親会 17：30～）

**場所：** 福山大学 宮地茂記念館（1F 102室）

**オーガナイザー：** 三谷曜子（北海道大学）、飛龍志津子（同志社大学）、  
山本麻希（長岡技術科学大学）

[\*参加費無料、男性も参加可、もちろん子連れで参加OKです!]



10年前（2008年）のバイオロギングシンポジウム@長崎大



昨年（2016年）のバイオロギングシンポジウム@同志社大

# ポスター発表

## 一般発表

- P01 津軽海峡の沿岸漁場におけるキアッコウの行動と漁獲  
○竹谷裕平
- P02 瀬戸内海におけるトラフグ産卵生態解明のための親魚標識放流試験へのバイオロギング調査の活用  
○平井慈恵・Sara Gonzalvo・森航大・高柳和史・赤井紀子・戸田慎平・片町太輔・白川北斗・宮下和士
- P03 Insights in the Swimming Patterns of Tiger Puffer (*Takifugu rubripes*) in Seto Inland Sea  
○Sara Gonzalvo・Kodai Mori・Kazufumi Takayanagi・Katsuaki Okabe・Narisato Hirai・Shinpei Toda・Noriko Akai
- P04 携帯電話回線を利用した GPS トラッキング調査  
—天然記念物「奈良のシカ」の事例—  
○樋口高志・吉岡憲成・鳥居春己・樋口幸三
- P05 キタオットセイは北海道日本海沿岸からどこに行くのか？  
○三谷曜子・平川由季乃・堀本高矩
- P06 RT を用いたマッコウクジラ用バイオロギングシステム  
○妻木勇一・森恭一
- P07 太ったザトウクジラは採餌しない？  
○青木かがり・岩田高志・Joanna Kershaw・秋山優・Martin Biuw・Christian Ramp・Rene Swift・Patrick J.O. Miller・佐藤克文
- P08 鳴音自動検出に向けた 機械学習によるジュゴン鳴音と狭帯域ノイズの識別  
○田中広太郎・市川光太郎・荒井修亮・Kongkiat Kittiwattanawong・三田村啓理
- P09 琵琶湖沖合におけるコイの遊泳行動と摂餌様式  
○吉田誠・馬淵浩司・佐藤克文
- P10 2つの近接したコロニー間でのアデリーペンギンの採餌行動の違い  
○伊藤健太郎・渡辺佑基・國分瓦彦・高橋晃周

- P11 バイオロギングと機械学習の融合： 加速度データからイエネコの行動を高精度に識別する  
○福田聡子・岩崎渉
- P12 グライド中の加速度から推定した採餌期ザトウクジラの体密度  
○檜崎友子・Saana Isojunno・Douglas Nowacek・Rene Swift・Ari Friedlaender・Christian Ramp・Sophie Smout・青木かがり・佐藤克文・Patrick Mille
- P13 交尾期間のオオミズナギドリのオスは メスの在・不在に応じてトリップ長を調整する  
○坂尾美帆・後藤佑介・高橋晃周・佐藤克文
- P14 岡山県高梁市におけるブッポウソウの生態研究  
○黒田聖子・江崎保男
- P15 音響的遮蔽度の異なる障害物空間を繰り返し飛行するコウモリの音響ナビゲーションによる空間学習過程の比較  
○山本雄也・三部有里奈・山田恭史・小林耕太・飛龍志津子
- P16 GPS データロガーとマイクロホンアレイを組み合わせた野生コウモリの採餌飛行戦略の分析  
○氏野友裕・中井元貴・藤岡慧明・依田憲・福井大・飛龍志津子
- P17 ナルトビエイが撮影した広島県松永湾の魚類相  
○石黒直生・廣瀬友明・岩本遼・松井健介・渡辺伸一

## 高校生発表

- SP1 オオイタサンショウウオの産卵行動及び幼生における共食いの研究  
太田成実・堀内菜央
- SP2 清心学園における鳥類相の変動について  
郷原菜風・高橋佳子
- SP3 アカハライモリの減少を防ぐため私たちに今できること  
加藤りく穂